

科目名称：	日本事情Ⅰ	
担当者名：	蘇 哲	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
1-6回のテーマ：入国直後の生活指導、入管法及び社会的ルールについて学び、学習方法の指導。 7-15回のテーマ：大学での勉強に役立つ日本に関する知識を学び、日本の文化、社会構造、日本人の行動・思考様式を理解し、異文化コミュニケーション能力の育成を目的とする。		
授業の達成目標・到達目標		
①留学生活に早く慣れ、日本人学生と親しく交流できる。 ②日本の社会・文化・歴史・生活習慣等に関する基本的な知識を身につけ、石川県の風習・伝統を理解し、積極的に日本社会に溶け込む。 ③自国との比較の視点から、日本の法律・社会的ルール・大学の規定について理解を深める。		

基礎教育科目		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。		○
DP (2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP (3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。		

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)		50	50		100
全学DP (2)					0
全学DP (3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
入管法などの法規に定められる留学生の権利・義務に対する理解度	日本の法律・条令並び大学の規則を理解し、身近な生活上のルールを守り、責任を持って行動する	アルバイトの制限時間や公共交通機関を利用する規約、交通ルールなどが守れる	アルバイトの制限時間や交通ルールなどが大体守れる	規範意識の涵養やルールを守る取り組みが足りない
日本の医療・保険システム、社会保障制度の仕組みに対する理解度	医療・保険・社会保障にかかわっている諸制度を積極的に理解して順守する	「国民年金保険」「医療保険」に加入して保険料を払う	「年金保険」「医療保険」に加入して滞納する場合には届を提出する	「年金保険」「医療保険」の仕組みを理解していない。料金を滞納することもある
日本の社会、経済、歴史文化、生活の一般知識についての理解力	日本の文化、歴史及び現代社会の仕組みを理解できる	日本の文化・社会の仕組みについて概ね理解できる	日本の文化・歴史・現代社会に興味を持って理解しようとしている	日本の文化・歴史、社会の仕組みについて知識が足りない
日本の教育制度と大学の特徴に対する理解度	留学の目標を設定し、達成度と進捗度を定期的チェックして日々の課題をクリアする	目標の管理を意識しながら努力していく	今後の道筋を模索しながら勉強して行く	目標意識が低い

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回	ガイダンス：履修登録の注意事項、単位修得要件 生活常識：感染症予防、交通事情、ごみの出し方、外国人登録、銀行口座の開き方	『あなたも金沢市民 金沢生活ガイド』22p～33pを読んでおくこと	40分
第2回	留学生のための法律知識：資格外活動・ビザの更新、アルバイトの時間制限と禁止事項、アパートなどの契約	「外国人の在留手続 資格外活動の許可」（入管法第19条）を読んでおくこと	40分
第3回	日本人の食生活、日本の物価、消費税、	『あなたも金沢市民 金沢生活ガイド』10p～13p・18p～21pを読んでおくこと	40分
第4回	健康管理、国民健康保険、病院	『あなたも金沢市民 金沢生活ガイド』12p～17p・38p～49pを読んでおくこと	40分
第5回	金沢の歴史・自然環境	インターネットで金沢の歴史・自然・食文化を調べておくこと	40分
第6回	来日前と来日後、日本に対する認識の変化についてそれぞれ10分程度の口頭発表して、ディスカッションを行う	各自で研究課題を設定して発表の準備をする（アクティブラーニング）	各120
第7回	日本の地理：都道府県、気象、資源、産業、交通、通信・放送、災害	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅰを読んでおくこと	40分
第8回	石川県の伝統工芸：加賀友禅・金沢箔・輪島塗・九谷焼	インターネットで「文化のポータルサイト—石川の伝統工芸—百工比照」を読んでおくこと	40分
第9回	日本の大学：日本の大学の特徴、日本の大学の種類、日本の大学数、大学への進学率、大学改革	文部科学省ホームページ：「教育 大学・大学院、専門教育」を読んでおくこと	40分
第10回	大学のサークル・クラブ活動、ゼミナール・卒業論文、就職活動	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅰを読んでおくこと	40分
第11回	現代日本の若者文化：若者ことば、ファッション、スマホ文化、ポピュラー音楽、アニメ	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅱを読んでおくこと	40分
第12回	日本人のノーベル賞受賞者	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅱを読んでおくこと	40分
第13回	茶道、生け花、盆栽、日本庭園、陶磁器と漆器	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅲを読んでおくこと	40分
第14回	日本の国際化と留学生受け入れの環境、留学生卒業後の選択	大阪日本語教育センター「クイズ日本事情」Ⅲを読んでおくこと	40分
第15回	まとめ・レポート発表（アクティブラーニング）	レポートを作成	各120

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への関与度・授業内での発表50%、レポート50%。授業への関与が低い場合は減点対象となるので、気を付けてください。
課題に対してのフィードバック
授業連絡、課題の配信はGoogleClassroom を利用する。 毎回授業の直後にGoole Classroomに課題を掲示する。 受講者からの提出物に対する評点とフィードバックコメントを翌週授業の前に返却する。
教科書・参考書
教科書：その都度プリント資料を配付 参考書：金沢市役所都市政策局文化交流部国際交流課発行『あなたも金沢市民 金沢生活ガイド』 大阪日本語教育センター編『クイズ日本事情』レベル1～レベル3 桂島宣弘(2007)『留学生のための日本事情入門』[第2版発行]，文理閣